

第三部会（第26期・第7回）議事要旨

I 日時

2025年10月28日（火）9:30～12:00

II 会場 日本学術会議6階 6-C(1)(2)会議室及びオンライン（ハイブリッド会議）

III 出席者

（会場現地）

有村 博紀、市川 温子、伊藤 由佳理、大場 みち子、岡本 裕巳、沖 大幹、小口 高、奥村 幸子、大崎 博之、岸本 康夫、倉本 圭、越塚 誠一、腰原 伸也、三枝 信子、齋藤 政彦、櫻井 博儀、笹木 圭子、佐竹 健治、三瓶 政一、下條 真司、下田 吉之、杉山 直、鈴木 朋子、須藤 雅子、関谷 毅、高木 周、高田 広章、高田 保之、多々納 裕一、玉田 薫、常行 真司、永井 由佳里、中野 貴由、中村 卓司、福島 孝典、松本 健郎、光石 衛、宮崎 恵子、森 初果、森口 祐一、森田 一樹、藪田 ひかる

（オンライン）

石原 一彰、内田 誠一、大橋 弘美、尾崎 由紀子、加藤 一実、佐古 和恵、竹内 徹、田中 雅明、田村 圭子、西 弘嗣、堀 利栄、三浦 佳子、望月 拓郎

（55名、敬称略）

事務局 新田、角田、櫻井、鈴木、富岡、藤田、佐藤

IV 議事

- （1）前回議事要旨の確認について
- （2）第三部理工系博士人材育成分科会について
- （3）「ありがたい日本学術会議像」についての意見交換
- （4）委員会等からの活動報告（意思の表出検討中の委員会等）
- （5）2025年度第三部予算執行方針について
- （6）来年度の第三部夏季部会について
- （7）その他

<配布資料>

- 資料1 第三部会（第26期第6回）議事要旨
- 資料2 第三部博士人材育成分科会関係資料
- 資料3 「ありがたい日本学術会議像」関係資料
- 資料4-1 第三部理工学ジェンダー・ダイバーシティ分科会報告資料
- 資料4-2 情報学委員会教育データ利活用分科会報告資料
- 資料4-3 総合工学委員会計算科学シミュレーションと工学設計分科会報告資料
- 資料4-4 土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会報告資料

- 資料4-5 材料工学委員会材料工学中長期研究戦略分科会報告資料
- 資料5 第三部意思の表出状況について
- 資料6 第三部夏季部会開催実績

- 参考資料1 第三部会員名簿
- 参考資料2 今後の開催予定等
- 参考資料3 日本学術会議傍聴規則

議事

- ・ 沖部長より、オンライン参加も正式な出席と認める旨、現地会員へ諮り、了承された。
 - ・ 定足数を確認の上、開会。
 - ・ 事務局より、本日の配布資料について説明が行われた。
1. 前回議事要旨の確認について
 - ・ 沖部長より、資料1に基づき、前回部会議事要旨の確認を行った。
 2. 第三部理工系博士人材育成分科会について
 - ・ 奥村幹事より、資料2に基づき、第三部理工系博士人材育成分科会での議論の経過や本日の論点について説明が行われた。
 - ・ その後、会員間で意見交換を行った。
 3. 「ありがたい日本学術会議像」についての意見交換
 - ・ 関谷幹事より、資料3に基づき、これまでの経緯や本日の論点について説明が行われた。
 - ・ その後、12のグループに分かれディスカッションを行い、グループ毎に議論の結果を発表した。
 - ・ 本日の意見は、関谷幹事より、アクションプラン企画ワーキンググループへ報告されこととなった。
 4. 委員会等からの活動報告（意思の表出検討中の委員会等）
 - ・ 森会員より、資料4-1に基づき、提言「社会と学術界におけるジェンダー平等・公正の実現を目指して」について報告が行われた。
 - ・ 大場会員より、資料4-2に基づき、見解案「教育データの利活用のさらなる促進に向けて」について報告が行われた。
 - ・ 越塚会員より、資料4-3に基づき、見解案「新たな音響学の学術領域の創成とそれを推進するコンソーシアムの創設に向けて」について報告が行われた。
 - ・ 多々納会員より、資料4-4に基づき、提言案「壊滅的災害発生が想定されるメガシティの防災力強化に向けた科学技術イノベーション」について報告が行われた。
 - ・ 中野会員より、資料4-5に基づき、報告案「未来の学術振興構想に基づく材料工学の中長期研究戦略」について報告が行われた。

5. 2025年度第三部予算執行方針について

- ・事務局より、2025年下半期の第三部予算執行方針について、説明が行われた。

6. 来年度の第三部夏季部会について

- ・関谷幹事より、資料6に基づき説明が行われ、来年度は九州・沖縄地区を開催地の候補とする提案がなされ、了承された。
- ・九州・沖縄地区を候補としつつ、来年8月の臨時総会の日程等を考慮し、開催の有無を含めて、引き続き検討を行うこととなった。

7. その他

- ・意思の表出について、スケジュールや査読手順に関して、複数の会員から発言があった。

閉会